【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【公表番号】特表2009-517343(P2009-517343A)
【公表日】平成21年4月30日(2009.4.30)
【年通号数】公開・登録公報2009-017
【出願番号】特願2008-540240(P2008-540240)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　48/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/10　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/76　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/08　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/04　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/28　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　48/00　　ＺＮＡ
Ａ６１Ｐ　 9/10
Ａ６１Ｋ　35/76
Ａ６１Ｐ　 9/08
Ａ６１Ｐ　 9/04
Ａ６１Ｋ　35/28
Ａ６１Ｋ　37/02
Ｃ１２Ｎ　15/00　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成21年11月11日(2009.11.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
虚血性損傷を患っている患者を治療するための医薬組成物であって、幹細胞因子（ＳＣＦ）をコードしている核酸を含んでなり、前記核酸が損傷部位へ送達され、そこで細胞により取り込まれかつＳＣＦが発現されることを特徴とする、医薬組成物。
【請求項２】
前記ＳＣＦが、分泌可能型のＳＣＦである、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】
前記ＳＣＦが、図１のアミノ酸２６－１６５を含んでなる、請求項２に記載の医薬組成物。
【請求項４】
前記ＳＣＦが、膜結合型のＳＣＦである、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項５】
前記ＳＣＦが、図１のアミノ酸２５－２４５を含んでなる、請求項４に記載の医薬組成物。
【請求項６】

前記ＳＣＦが、膜結合型及び分泌可能型双方のＳＣＦである、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項７】
前記ＳＣＦが、ヒトＳＣＦである、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項８】
前記核酸がベクターである、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項９】
前記ベクターがウイルスベクターである、請求項８に記載の医薬組成物。
【請求項１０】
前記ウイルスベクターが、感染性のウイルス粒子内にパッケージされている、請求項９に記載の医薬組成物。
【請求項１１】
前記ウイルスベクターが、アデノウイルス、レトロウイルス、単純ヘルペスウイルス、ウシ乳頭腫ウイルス、アデノ随伴ウイルス、レンチウイルスベクター、ワクシニアウイルス、又はポリオーマウイルスからなる群より選択される、請求項９に記載の医薬組成物。
【請求項１２】
前記ウイルスベクターが、アデノウイルス、又はアデノ随伴ウイルスベクターである、請求項９に記載の医薬組成物。
【請求項１３】
前記損傷が心臓血管系に関連する、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項１４】
前記損傷が、心筋梗塞、虚血性発作、末梢血管疾患、及び心不全からなる群より選択される症状に関連する、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項１５】
カテーテルを用いて損傷部位へ送達される、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項１６】
虚血心組織に送達される、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項１７】
虚血心組織への送達のため冠動脈循環へ送達される、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項１８】
心臓壁に移植された装置を用いて虚血心組織へ送達される、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項１９】
損傷部位におけるＳＣＦの発現が、修復をもたらすべき部位へ細胞を動員するべく作用する、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項２０】
１以上のサイトカイン又はケモカインとともに投与される、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項２１】
前記サイトカインが、Ｇ－ＣＳＦ及びＧＭ－ＣＳＦからなる群より選択される、請求項２０に記載の医薬組成物。
【請求項２２】
細胞とともに投与されない、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項２３】
細胞とともに投与される、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項２４】
前記細胞が幹細胞である、請求項２３に記載の医薬組成物。
【請求項２５】
前記幹細胞が、患者から採取された組織からエキソビボで産生されるものである、請求項２４に記載の医薬組成物。